「地域の力を学校へ」推進事業

平成23年度 学校支援の実践例





「シーサーをつくろう」

滋賀県立陶芸の森

彦根市立稲枝北小学校(5年生)

平成 23 年 6 月 27 日

図画丁作

授業 Class 最初に、守り神のお話がありました。沖縄で有名な「シーサー(モデルはライオン)」は、家や人や村に災いをもたらす悪いものを追い払う魔よけ、また、幸運を招く守り神として伝わってきました。

まずは、陶芸家の先生が粘土で見本のシーサーを作りながら、わかりやすく楽しくアドバイスをしてくださり、子どもたちも一人ひとりが思いを込めて作りました。シーサーは、1ヶ月後に焼き上がるそうです。







感想 Impression

Impression from Children

シーサーを作るのは初めてでしたが、世界に一つしかない自分だけのシーサーが作れました。とても楽しかったです。

家族と家を守るシーサーを作りました。上手にできてとてもよい作品ができたので、うれしかったです。焼き上がりでどうなっているのかが楽しみです。

プロの方が見本を見せて〈れたときは、簡単そうだなと思いましたが、やってみるとすご〈難しかったのでびっ〈りしました。でも、講師やスタッフの方に教えてもらったらできました。私のシーサーは、空を飛んで見守ってほしいなと思ったので羽をつけました。

学校より Impression from school

講師の方の興味をもたせるわかりやすい指導がとても良かったです。また、たくさんのアシスタントの方が各班をまわり、手厚い指導体制で子どもたちに十分指導していただきました。打ち合わせも丁寧にしてくださり、物創りに対する愛情がひしひしと伝わってきましたし、講師やスタッフの方が「子どもたちと一緒に作ることが楽しい」とおっしゃっていて、子どもたちもとてもよい作品をつくりあげることができました。個性的な作品ができ、子どもたちも大満足でした。ありがとうございました。

immit impression from lecturer

子どもたち一人ひとりが純粋で素直で、最初に見本のシーサーを作った時も「うわーすごい! 僕も作りたい!」など言葉に出して表現していたことが印象的でした。

先生には授業時間を十分に取っていただいていたので、シーサーのことなどをもっと深く発展させても良かったなあと思いましたが、最後に自分や友だちの作品の感想などをまとめ発表する時間や質問の時間があり、有効に授業時間を使っておられるのがとても良いと思いました。自由な発想で、自分の思いを形にすることはとても楽しいと思います。